

金沢大学「医薬保健学域」創設記念市民公開講演会

真のトータルケア を求めて

開催日 ● 平成20年2月3日(日)
13時～16時45分 (12時開場)

会 場 ● 石川県立音楽堂 邦楽ホール

入場無料

当日はどなたでも御自由に参加できます

主催 ● 金沢大学医薬保健学域準備室

後援 ● 石川県 金沢市 石川県医師会 金沢市医師会
石川県薬剤師会 石川県看護協会
石川県理学療法士会 石川県作業療法士会
石川県放射線技師会 石川県臨床衛生検査技師会
金沢大学十全医学会

お問い合わせ先 ● 金沢大学宝町地区事務部総務課総務第一係
TEL 076-265-2100
FAX 076-234-4202
E-mail t-somu1@ad.kanazawa-u.ac.jp

開会の辞 13:00

金沢大学大学院医学系研究科教授 (保健学類代表) 天野 良平

開会挨拶 13:05

金沢大学長 林 勇二郎

特別講演 13:15

座長：金沢大学大学院自然科学研究科教授 (薬学類代表) 石橋 弘行

国民の健康とくすり

九州大学薬学研究院教授
日本薬学会会頭 内海 英雄

バンドネオンコンサート 14:50

クラシカルバンドネオン奏者 生水敬一郎

特別講演 15:20

いのちと響き合う言葉

ノンフィクション作家 柳田 邦男

閉会の辞 16:40

金沢大学大学院医学系研究科教授 (医薬保健学域準備室長) 山本 博

● 公開講演会開催にあたって ●

高度な専門性を担保する一方で、豊かな人間性に支えられた「全人的医療」の担い手を育てる、という一見矛盾した命題が現代の医療人教育に課せられています。この課題に対する金沢大学のソリューションが、平成20年度に設置する医薬保健学域です。金沢大学医薬保健学域は、教育資源の共有と人的交流を図り、ひろい心と豊かな学識をもって最高のチーム医療ができる人材の育成を目指します。

このような医薬保健学域設置の意義を内外に明らかにし、「真のトータルケア」という観点から、わが国の代表的叡智による啓蒙を図る事業としてこの市民公開講演会を開催します。多数の皆様のご参加を歓迎いたします。

真のトータルケアを求めて

● プロフィール ●



うつみ ひでお
内海 英雄氏

1947年静岡県生まれ。九州大学教授。1976年東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了。ドイツケルン大学医学部に2年間留学後、帝京大学講師、昭和大学助教授を経て現職の九州大学大学院薬学研究院教授。

主として磁気共鳴法を用いて「活性酸素と疾患・薬」に関して無侵襲解析・画像化の装置・試薬を開発し、医療基礎研究を進めており、医薬農工学からなる「先端医療レドックスナビ研究拠点」(2007年7月開設)の拠点長も務めている。また、2004～2007年3月の3年半、日本学術振興会で医歯薬学領域主任研究員として、わが国の学術振興・若手人材育成に携わる。学会活動では、日本薬学会会頭をはじめ種々の学会の会長、理事を務め、積極的に執筆と講演活動を行っている。「日本薬学会奨励賞」「水環境学会学術賞」「日本フリーラジカル学会賞」「文部科学大臣表彰科学技術賞」「電子スピンスイエンズ学会学術賞」など、受賞多数。



やなぎだ くにお
柳田 邦男氏

1936年栃木県生まれ。ノンフィクション作家、評論家。1960年東京大学経済学部卒業。NHK記者として14年間報道の仕事に携わった後、フリーの作家活動に。現代人の「いのちの危機」をテーマに、戦争、災害、事故、公害、病気などのノンフィクション作品や評論を書き続けている。最近では、終末期医療、医療事故、脳死問題、心の危機、言葉の危機、少年事件、絵本の重要性などについて、積極的に執筆と講演をしている。1979年「がん回廊の朝」で第1回講談社ノンフィクション賞、1995年「犠牲・わが息子脳死の11日」とノンフィクション・ジャンル確立への貢献に対し第43回菊池寛賞。近著に「壊れる日本人」「人生の答の出し方」「人間の痛みを感じる国家」「大人が絵本に涙する時」など多数。



しょうず けいいちろう
生水 敬一郎氏

1981年石川県加賀市生まれ。2004年埼玉大学教育学部音楽専修を作曲専攻にて卒業。バンドネオンを小松亮太氏に師事した後、2002年の2、3月と2004年3月～2006年1月までアルゼンチンのブエノスアイレスに渡り、音楽史上初のクラシック音楽のバンドネオン奏者であり作曲家のアレハンドロ・バルレッタ氏(1925～)に師事、またウルグアイのモンテビデオにてバルレッタ氏の弟子でもあったレネ・マリーノ・リベーロ氏(1935～)に師事。ブエノスアイレス留学中、多数のコンサートに出演した他、3度のリサイタルを開く。また、アルゼンチン全国ネットのラジオ番組に日本人クラシカルバンドネオン奏者として出演。インタビューを受ける。作曲を鈴木静哉氏、バロック音楽理論及び奏法を岡田龍之介氏に師事。現在通奏低音を伊藤一人氏に師事、クラシカルバンドネオン奏者として活動中。